

に大きなつけを回すことになるのは明らかである。即刻廃止すべき事業だが、来年度も実施するのなら、全額国庫負担とすべきである。

中野区共同住宅等指導要綱の条例化を進めよ

先の中野区住宅政策審議会「中野区共同住宅等建築指導要綱の条例化に際して盛り込むべき内容について」の答申が示されたが、①条例化にあたっては、現

行の指導要綱をどう見直すつもりか。②ごみ出しのルールや、各住戸の表札の掲示を条例に盛り込むべきと考えるかどうか。③ネットショッピング利用者の増加で、道路が狭い中野区内では、宅配便の車の停車により通行が阻害され、特に緊急車両の通行には問題がある。今回の条例化で何らかの対策がとれないか。④区内の建築業界などの意見も十分に聞くべきではないか。

区長 ①最低住戸面積の引き上げなどの新たな課題への取り組みなど、答申で示されている内容に沿って、見直し内容を検討したい。②条例に盛り込む方向で検討する。③サービス車両の出入りする頻度の高い一定規模以上の集合住宅については、車寄せなどを設ける規定を盛り込む方向で検討したい。④関係する方面への説明や意見の求め方など、工夫したい。

障害を持つ子どもへの積極的な支援を進めよ

無所属 佐藤 ひろこ



①障害を持つ子どもやその家庭を支援するための施策を、地域子ども家庭支援センターや、すこやか福祉センターで積極的に行うべきでは。②地域で共に育つように、保育園や幼稚園への障害児の受け入れを進めるべきでは。③障害のある

子どもと家庭への支援に対する区長の基本姿勢を伺う。区長 ①地域の実態に合った支援策を、具体的に検討する。②保育園では定員に受け入れていく。私立幼稚園は、園ごとに支援のあり方を検討したい。③障害の有無に関わらず、

共に地域で過ごせるよう必要な体制を整備していく。絆をつなぐ支えあいの仕組みづくりを図れ

区民活動センターが支えあいの地域拠点として機能するための体制や、担当職員配置をどのように考えているのか。区長 センターでは支えあいのコーディネート役の職員配置を検討している。

給食調理室設備を改善せよ

無所属 むとう 有子



保育園給食にクロゴキブリの卵が混入する事故が発生した。卵は食事を盛った食器を載せたワゴンを一時保管する受け渡し口内の配膳棚裏から落下し、混入した可能性が高いとされた。

受け渡し口の扉は、立て付けが歪み1cmもの隙間があり、害虫の出入りが自由であった。受け渡し口扉の修理や変更、全体のステンレス化、扉付き密閉型ワゴン導入、ドライシステム化な

ど改修計画を立て、望ましい調理室へ改修すべきでは。区長 配膳方法の改善や最適な器具類の導入を進め安全性を高めていく。建て替え民営化に併せてドライシステム化も進めていく。水銀濃度に法規制を求めよ



足立清掃工場他で自己規制値を上回る水銀が検出され、焼却炉を停止した。自己規制による管理ではなく、国に排ガス中の水銀濃度の法規制を求めようか。区長 区として国に法規制を求める考えはない。

繰り返される計画見直しは行政コストを意識せよ

無所属 近藤 さえ子



見通しの甘い計画を作り、状況が変わると作り直すということの繰り返しは、行政コストの無駄である。①かかった人件費はいくら。②無駄を削るための目標体系の見直しは、国の事業仕分けと同様に区民に見える形の作業とすべきでは。

区長 ①人件費については、既定の職員数の中で行ったものであり、新たなコストとしての算出はしていない。②部分的な作業で事業の適否を評価する事業仕分けの手法を導入する考えはない。

柔道の必修化にあたっては十分な安全配慮を。柔道は、他のスポーツに比べて死亡につながる重大な事故が多発している。24年度からの武道必修化により、多くの生徒が柔道を行うこととなるが、どのような安全配慮をするのか。教育長 畳の配置など環境面の配慮や、生徒に対する丁寧な事前指導を行っている。

災害ボランティア研修の支援・充実を

無所属 つばい えみ



平成17年の大水害の際、中野区社会福祉協議会の災害時の登録ボランティアが集まらず、制度として機能しなかった。災害ボランティアとの関係継続、人材確保のための研修に対して、区としても、十分な支援をすべきである。区の見解は。

区長 研修が充実するよう、積極的に支援する。地震災害への備えを

①総合防災訓練に多くの区民が参加しやすいよう、災害時の調理訓練や衣類などを活用した応急手当の方法など、訓練内容を工夫す

べきでは。②震災に関する区民向け冊子は、小さく見づらい。防災地図を大きくし、防災関係機関などの記載を増やすべきではないか。③AEDの使用方法など、避難者向け手引きを作成し、避難所備蓄倉庫に備えては。区長 ①提案も踏まえ、訓練内容を工夫したい。②冊子を改定する際、指摘の点も踏まえ、検討したい。③今後研究していきたい。

持続可能な区政運営への具体的な取り組みを問う

無所属 いながき じゅん子



①事業仕分けではなく外部評価制度を続けるならば、コスト削減額と事業改善成果をもっと分かりやすく区民に提示すべきでは。②今後20年間で区有施設の改修改築経費は1千億円以上が

見込まれ、現状の施設数ではすべてに対応していくことは困難であると施設白書に明記しながら、具体的な改善計画が出されていない。早急に策定し、実行すべきでは。③中野駅周辺再開発

すこやか福祉センターの機能を問う

無所属 林 まさみ



①ひきこもりなど社会からの孤立や、孤独死を防ぐため、支援の強化が必要だ。すこやか福祉センターが地域で見守る人と関係機関をつなぎ、情報の共有を図るべきだ。そのためには、住民も参加して、見守られる側の目線で「支えあいマップ」を作成すべきではないか。②中部すこやか福祉センターは8億円をかけて整備したが、長期的な視点に立って維持管理費など、建て替えとの比較はしたのか。区長 ①マップづくり

は地域の実情把握に有効であり、よりよい手法を地域に紹介していく。②運営費は改修、建て替えとも同じ。耐用年数は改修の場合20年程だが、使用年数と工事費を勘案、比較し改修とした。住民主体のまちづくりを

まちづくりには住民参加と協働が必要だ。参加を後押しする条例を制定しては。区長 住民参加を促し、よりよいまちを実現するための手続きを定めていく。

中野区議会定例会（一般質問）をテレビ放送しています。

中野区議会では、JCN中野（シティテレビ中野）で、議会のテレビ放送を行っています。内容は、各議員の一般質問などの録画放送です。放送予定などは、決まり次第、中野区議会ホームページに掲載します。ぜひご覧ください。

【問合せ】区議会事務局（電話3228-5585）